



市議会議員 砂田喜昭 67-4322



参議院議員 井上哲士

衆議院議員 笠井あきら



配達日は7月31日まで

禁無断転載 複写配布

砂田市議の議会活動から

税金の無駄づかいを正してほしい。こんな声がかちの中
に溢れています。日本共産党の砂田喜昭市議はこの声に
こたえ、がんばっています。その主なものを紹介します。

市債残高を減らし利払いを4億円節約

12年前の砂田市議の提案で市債残高を150億円から300
億円減らし、120億円としました。その結果、借金の利払いが
当時に比べ4億円も少なくなりました。08年度の利払い6億3
千万円、2008年度には7億2千万円。この中には低金利の
借り換えや借金の繰り上げ返済の効果も含まれますが、いす
れも砂田市議が主張し、その後実現したものです。

旅費・食糧費の削減で4千万円節約

市長・議長交際費の削減で2百万円節約

子撫川ダムの固定資産税課税漏れ

市民の指摘で1千数百万円税収増

税金の無駄づかいを正す

笠井あきら衆院議員 小矢部市へ演説に



日本共産党の笠井あきら衆院議員が8月4日、小矢部市立まち寄り
街頭から演説する予定です。

8月4日(水)

午後2時35分 石動駅前商店街

ショッピングプラザすずらん付近

午後3時30分 興法寺 小林木たばこ店付近

参院選後、日本共産党国会議員が小矢部市で演説するのは初めて
になります。ぜひ多数のご参加をお待ちしています。

3つの請願に賛成討論



6月議会

市議会の役割の一つは、主権者国民・市民からの請
願を審議し国などに働きかけることがあります。日
本共産党の砂田喜昭市議は積極的に請願の紹介議
員となり、国へ意見書を出すために努力してしまし
た。6月議会では職業訓練センター存続を求める請
願「中小企業憲章を求める請願」最低賃金引き上
げの請願をとりあげ、賛成討論をしました。しか
し、自民党保守系議員らの反対で不採択となりま
した。砂田市議の討論要旨を今週号と来週号で順次
紹介します。

職業訓練センター存続を

大企業のリストラ、公務員 製ワーキングプアの横行など
削減圧力のもとで正規職員を 雇用、労働条件の悪化が深刻
臨時パートに置き換える官 です。

砺波地域職業訓練センターでは5講座開講

こつした中で、地域職業訓 力を独立行政法人雇用・
練センター」の役割は重要、 能力開発機構の整理 廃止
砺波地域職業訓練センター 路線の二環として廃止させよ
は今年度、パソコン講座、職業 ことについては、雇用 失業対
能力開発講座、語学研修、そ 策としても重大問題です。職
他の講座としてオフィス簿記 を失った人が 新たな職を見つ
や造園などの講座、全部で1 けよつと、新しい技術を身に
185名定員の5講座を開 ける道を閉ざすことになり
講し、労働者の職業訓練を ます。

職業訓練センターの実態を
議論せず不採択
産業建設常任委員会

産業建設常任委員会で、こつした実態に
一言も触れることなく「この請願を不採択
としたことは、これから決めようとする小矢
部市議会基本条例の精神にも反する」とで
す。

議会基本条例では第4条で委員会の運
営に当たり、市民の専門的または政策的識
見等を議会の討議に反映させる」とし、市
民の意見、要望等を的確に把握しなければ
ならないと定めています。

ところが、産業建設常任委員会では職業
訓練センターの実態について一言の議論も
ないまま不採択としたのです。これではせつ
かくの議会基本条例も、佛つくて魂入ら
ず「こつした」ではありませんか。

失業者に再起の希望を、ぜひ

議会基本条例の精神を生かし、失業者に
再起の希望を与えるためにも、ぜひこの請願
の採択を訴えます。

かわえ明美さん(前参院比例候補)から メッセージ

参院選をたたかったかわえ明美さんから読者のみな
さんに次のようなあいさつが届けられましたので、紹介し
ます。



書いて、皆さん
に支えられなが
ら訴えてまいり
ました。選挙は
残念な結果とな
り、直後はさ

すがに落ち込みましたが、各画を回つ
て皆さんの応援のおかげで、また、宮本顯
治さんの日本共産党の党員像を讀
み、ファイトがわいてきました。

選挙の翌日は、早朝名古屋市内の
駅頭で、佐々木憲昭衆院議員や西田
静郎比例候補、もともち子選挙区

候補と、公約実現に引き続き奮闘す
る決意を述べました。
非正規切りや長時間 過密労働を
たたくためには、働くルールの確立が
急務です。公約した労働者派遣法の
抜本改正に向け、引き続きがんばり
ます。大企業減税が目的の消費税増
税に反対を貫きます。行き過ぎた大
企業減税の見直し、軍費費など税金
の無駄づかいを、たたくして社会保障の財
源づくりをすすめるための全力を尽く
します。

大きな支援、ありがとうと、ごいま
した。